

フォトジャーナリスト豊田直巳氏のスライドトーク

取材現場から見たパレスチナ問題 和平、共存の可能性

今、例を見ないほどのジェノサイドがガザを襲っています。世界が固唾を飲んで見守りながらも救えない状況です。パレスチナ国家承認の行方はどうなるのでしょうか？

1983年からパレスチナを取材をされてきた豊田直己さんの現地パレスチナをスライドで見せていただき、ご報告をしていただきます。

日 時：11月24日(月・休)14時～16時

会 場：カトリック麹町 聖イグナチオ教会 ヨセフホール

定員200名 先着順 参加費無料 (カンパ歓迎)

講 師：豊田直巳さん (フォトジャーナリスト、ドキュメンタリー映像
監督・制作、日本ビジュアルジャーナリスト協会(JVJA)会員)

1983年よりパレスチナの取材を始める。その後イラクやアチェ、ボスニアやコソボ等の紛争地を取材。週刊誌、新聞、テレビで発表。東日本大震災以降は原発



事故被災地取材を続ける。著書に『福島 人なき「復興」の10年』(岩波書店)『福島に生きる凜ちゃんの10年』(農文協)『Fukushima:L'Anno Zero』(Jaco Book)『フクシマ元年』(毎日新聞社)『戦争を止めたい フォトジャーナリストの見る世界』(岩波書店)『「イラク戦争」の30日』(七つ森書館)『パレスチナの子供たち』(第三書館)など多数。映画『奪われた村』『遺言～原発さえなければ』などがある。



主 催 カトリック東京正義と平和の会

お問合せ 080-5679-6166 (溜口)

アクセス

四ツ谷駅下車 (徒歩1分 上智大学手前)

- ・ IR中央線 (麹町出口)
- ・ 東京メトロ 丸の内線・南北線 (赤坂出口)